



vol. 25

2012年4月発行

編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>

## 理念

私たちちは良質で安全な医療を提供し  
地域の皆さんに親しまれ、  
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-2号  
審査体制区分4(ver. 5.0)  
2009. 8. 23～2014. 8. 22

日本医療機能評価機構とは、市民が  
適切で質の高い医療を安心して享受  
できるよう、医療機関の機能を学術  
的観点から評価する第三者機関です

## 基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

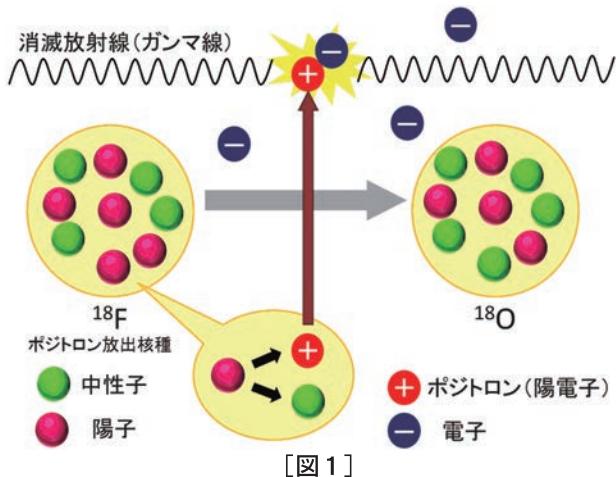
## 目次

表紙《病院の風景》	1	看護局9階西病棟の紹介	5
4月よりPET-CT装置が稼働します!!	2	院内施設の紹介(4階)	6
病気のおはなし「かぜ」	3	附属看護学校〔入学試験と学校の使命〕	7
微生物検査室の紹介	4	大佐和分院より〔事務係の紹介〕	8

# 4月よりPET-CT装置が稼働します!!

## 1 PETとCT

PETとは図1のようにポジトロン(陽電子)を放出し、消滅放射線(ガンマ線)を出す放射性同位元素を含む薬を投与し、その薬の分布や集まり具合から体の機能や代謝を画像化する装置です。CTはX線を使いコンピューター上で体を輪切りにし、病気の位置や形を画像化する装置です。PET-CT装置とは、この2つを組み合わせ、体の機能や代謝と、病気の位置や形を同時に画像化する装置です。



## 2 PET-CT検査で使われる薬

$^{18}\text{F}$ (図1)を含むブドウ糖によく似た薬、 $^{18}\text{F-FDG}$ を注射します。 $^{18}\text{F-FDG}$ は、ブドウ糖代謝の盛んな正常組織や、腫瘍・炎症などの病巣に集まります。この性質から、がん細胞があると(部位や種類にもよりますが)PET画像では $^{18}\text{F-FDG}$ の集まった場所として検出できます。この位置をCTで探し、形を診断するのがPET-CT検査です。

## 3 PET-CT検査の適応と実際

保険適応では「早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む全ての悪性腫瘍(他の検査、画像診断により病期診断、転移、再発の診断が確定できない場合)」と、ほとんどの悪性腫瘍に適応があります。当院の装置は呼吸に合わせて撮像

する最新の機能が装備されており、呼吸の動きで描出が難しい病変に対しても、従来の装置よりも明瞭に撮像することができます。検査は図2のような流れで行われ、検査終了まで約2時間半を要します。

## 4 PET-CT検査での被ばく

PET-CT検査で注射する $^{18}\text{F-FDG}$ の量はわずかで、成人の場合185MBq(メガ・ベクレル:注1)程度です。また、 $^{18}\text{F-FDG}$ による患者さまの被ばくは約3.5mSv(ミリ・シーベルト:注2)程度です。この検査では通常のCTよりも低い放射線量で撮影していますので、PET-CT検査全体での被ばくは約10mSv程度になります。これは、疾患を持つ患者さまや検診を受けられる方に対して容認される放射線量とされています。

当院では各スタッフが密な連携をとり、より良い検査を提供できるように努めています。検査を受けられる方で、ご不明な点などがありましたら担当スタッフにお聞きください。

(放射線技術科 江村 隆)



[図2]

注1: Bq(ベクレル)…放射線を出す原子数

注2: Sv(シーベルト)…人体への影響量

## 病気のおはなし　かぜ

「かぜ」は数ある病気の中でも皆さんに最も馴染みのあるものの一つではないでしょうか。健康に自信のある方でも年に1、2回は「かぜ」をひかれことがあると思います。では、「かぜ」とは何なのでしょうか。

**「かぜ」は医学用語では急性上気道炎といいます。**上気道とは喉の周りのことです。喉の周りに炎症が起きるため喉の痛み、咳、鼻水などの症状が出ます。熱が出ることもあるでしょう。「かぜ」の原因は何でしょうか。人の体に感染する病原体にはウイルス、細菌、真菌などがありますが、「かぜ」の原因はウイルスです。「かぜ」ウイルスはとてもたくさんの種類がありますが、病院ができる検査では一部の例外を除いてウイルスの種類を調べることはできません。「かぜ」は主に症状や時間の経過から診断することがほとんどです。

では「かぜ」はどうやって治療するのでしょうか。「かぜ」をひいたので抗生物質が欲しいとご希望される方が時にいらっしゃいますが、抗生物質は細菌には効果があっても、残念ながらウイルスには効きません。インフルエンザなどの一部のウイルス以外では、「かぜ」ウイルスをやっつけるような特効薬はないのです。「かぜ」ウイルスをやっつけるのは患者さん自身の体です。通常は1週間もあれば体に備わる防御システム(免疫)が「かぜ」ウイルスをやっつけて症状は楽になるでしょう。時々、「かぜ」をひいたんだけどすぐに治して欲しいといったご希望をいただきます。大変心苦しいのですが、現代の医学では「かぜ」には特効薬がなく、咳止め、解熱鎮痛剤などの症状を抑える薬を飲んでいただいた上で、体が「かぜ」ウイルスを追い出すまで十分に休んでいただくしかるのが現状です。「かぜ」をひいたときには、市販のかぜ薬を飲んでゆっくり休んでいただくか、症状が

おつらい場合にはかかりつけ医を受診していくだけだと思います。

**「かぜ」と似たような症状が出るけれども注意が必要な病気もあります。**その一つが肺炎です。肺炎は、肺の炎症で、症状としては咳、痰、発熱などがあります。原因是細菌であることが多く、抗生物質の治療が必要となります。「かぜ」と肺炎は症状が似ているため完全に見分けるのは難しい場合もありますが、高熱が続く、数日様子を見ても症状が悪化し続ける、などの場合は肺炎を疑って胸のレントゲン検査などを行う必要があります。またご高齢の方や糖尿病で血糖のコントロールがあまりうまくいっていない方、ステロイドなど免疫を抑える薬を飲まれている方などは、病原体に対する抵抗力が落ちているため肺炎になりやすいので、「かぜ」の症状が長引いたり、高熱が続く、食事が取れないくらい元気がない、などの場合にはかかりつけ医への受診をお勧めします。また、高い熱があるけれど、喉の痛み、咳、鼻水などの「かぜ」の症状は何もない、といった場合には、「かぜ」ではない病気の可能性も考えられますので受診が望ましいでしょう。

**「かぜ」は何よりもひかないことが一番です。**過労や寝不足を避けて、手洗いやうがいなどで予防を心がけていただくことが何よりと思います。皆さんのが「かぜ」をひくことなく、健康で過ごしていただけたら幸いです。

(総合診療科 高田 俊彦)



## 医療技術局 臨床検査科 微生物検査室の紹介

微生物検査室は臨床検査科の一部門の組織で、現在6名の検査技師が担当しております。その内2名が認定臨床微生物検査技師の資格を有し、さらに1名が感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)の感染対策のスペシャリストをスタッフに持つ千葉県内でも優れた微生物検査室です。



また、君津中央病院自体は、細菌検査技師を育成する認定研修施設であることに加え、

二類感染症指定病院と結核病棟を有する県内唯一の指定病院でもあり、さらには三次救急施設として重症者及び感染症患者を受け入れる、きわめて特殊な施設構成となっています。

さて、ここで感染症指定病原体について説明します。二類感染症の病原体には、ポリオ、結核菌、ジフテリア、SARSコロナウイルスがあり、三類感染症には、コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、そして四類及び五類感染症と多くの病原体があります。五類感染症には、院内感染上重要なMRSA(メチシリソ耐性黄色ブドウ球菌)感染症などがあります。

それでは、実際の微生物検査業務内容について解説します。微生物検査には、細菌検査、ウイルス検査、原虫検査など、大きく分けて3分野があります。感染症は、市中感染症(医療機関以外で感染)と院内感染症に分けられます。市中感染症では、肺炎球菌による肺炎、インフルエンザ菌による肺炎、救急領域でのレジオネラ肺炎などが挙げられ、腸管出血性大腸菌(O157やO111のベロ毒素産生菌)による腸管感染症は昨年発生した焼き肉屋での死亡事例が記憶に新しいところです。このほか、ウイルス感染症ではインフルエンザウイルスによる冬季の呼吸器感染、ノロウイルスによる腸管下痢症など、これらの種類に応じた

幅広い検査が要求されます。院内感染症は、起因菌となるMRSA、多剤耐性緑膿菌(MDRP)、バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)、多剤耐性アシネットバクター(MDRA)などの監視対応・対策が必要不可欠になっています。さらに遺伝子検査を用いた結核菌感染の迅速診断を行っています。微生物検査は、このような感染症の原因菌を早く察知し、適切な抗菌薬を選択できるように、迅速で正確な検査が求められています。

通常、細菌検出と薬剤感受性試験(どんな薬が有効か調べること)には3日程度を要しますが、当検査室では2日程度で報告が可能であり、且つ感染症制御支援システムからリアルタイムに院内に向けた情報提供が可能です。また、感染対策チーム(ICK)の一員として院内巡回を実施し、日々から医療スタッフへの指導にあたると共に、院内感染で監視すべき微生物については診療科別・病棟別に耐性菌と薬剤感受性の割合などを算出して院内の動向を把握しているため、患者様の移動履歴と検出菌・ウイルス感染の鑑別によるベッドコントロールが可能です。これらの体制は、院内感染を未然に防ぐ役割を果たしており、例として挙げると、院内感染菌の代表ともいえるMRSAの検出率は、厚生労働省の調査データでは全国平均が約10%ですが、当院は年平均3.4%と全国平均の三分の一程度の検出率となっており、院内感染防止体制による効果が示唆されています。



このように微生物検査を院内で実施することにより、安全で感染リスクを軽減している当院を安心してご利用いただけるよう、スタッフ一同今後とも努めていきたいと思います。

(微生物検査室 高橋 弘志)

# 看護局 9階西病棟の紹介

9階西病棟は医師12名、看護師31名、助手2名、クラーク1名、ベッド数49床を有する消化器科(食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・脾臓などに関連する)病棟です。急性期・慢性期・終末期と幅広い疾患の患者様が入院しています。



病棟では、安全で質の高い、心のこもった看護サービスを提供するために、病棟スタッフは笑顔を忘れず声を掛け合い協力しながら頑張っています。医師・看護師のほかに薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカーなど他職種と連携をとりながら患者様の治療を行っています。



また、病棟の看護の質をより一層高めるために、退院される患者様一人ひとりにアンケートを実施し、患者様のご意見を日々の看護に反映させています。現在、病棟では次の点に注力しています。



師長 鶴岡

9階西消化器病棟は、「患者様に満足していただける医療・看護を提供できる」を目標に、医師、看護師とともに、患者様の意見や情報を反映し信頼・安心できる医療・看護が提供できるよう努力しています。  
医療・看護ができるよう役割が担えるようスタッフ一同地域の基幹・中核病院としての役割が担えるよう向上心を持ち、業務に取り組んでいきたいと思います。

病棟スタッフの方々の力を借りながら日々学んでいます。  
1年目の私はまだまだ勉強不足ですが、これからも積極的に取り組み、成長していきたいと思います。



看護師 小出

## 緩和医療チームの介入及びカンファレンス

終末期の患者様には緩和医療チームが介入し、毎週の回診に訪れます。また、同チームと病棟スタッフとのカンファレンスを通じて、終末期の患者様の苦痛の軽減に努めています。

## 退院支援カンファレンス

退院支援が必要な患者様やご家族の希望に添えるよう定期的にカンファレンスを行い、より良い看護を提供できるよう日々努力しています。現在病棟では、該当する入院患者様の退院後の生活について、ソーシャルワーカーと訪問看護室長を交え退院支援カンファレンスを毎週行っています。



## 退院指導

消化器疾患では内服薬の継続・食事のコントロールが必要とされています。そのため、退院後も安心して生活できるよう患者様やその家族へ服薬指導・栄養指導を積極的に行ってています。

# 院内施設の紹介(4階)



## 売店・介護ショップ



売店「森のオアシス」では、牛飯の松屋、地元で有名な吟米亭浜屋のバーベキュー弁当とあさり飯、石窯パン工房クロワッサンの焼きたてパン、千葉の物産品の販売や季節に合わせたフェアを実

施するなど、様々なバリエーションの商品を販売しています。また、定期的に飲料や食料品などの特売も実施しています。

病院には、闘病生活を送る方、お見舞いに見える方、患者様を救うべく最善を尽くす医療関係の方といった様々な方が来院されるので、そのような方々が「ほっと一息つける場所」(オアシス)としての運営を心がけています。また、

お客様一人ひとりのご要望にできる限りお答えするためスタッフの情報共有は欠かさず、例えば入院中の患者様は喉越しの良い商品を好まれるのでプリンやヨーグルトは多めにするなど、その日その日のご要望にお答えできるよう、商品選定もスタッフで知恵を出し合いながら工夫しています。

### 【各種サービス】

ATM、コピー機、宅急便の受付、  
テレフォンカード、切手 など

**【営業時間】** 平 日 7:00～21:00  
土日祝 8:00～18:00

介護ショップでは、数多くの衛生用品を取り扱っており、細かい商品のご説明や親切丁寧な接客を心がけています。



**【営業時間】**  
9:00～17:00  
(土日祝除く)

## 食堂

「CAFÉ & RESTAURANT くあとろ」では、安全で美味しいものをお客様にお届けすることを第一に、旬の物・地元の物を多く使用し、木更津の風土と季節を、食を通じて発信していきたいと願っています。



ご好評いただいているメニューは、野菜がたっぷり入ったタンメン、カロリー500k・塩分

3g以内におさえたヘルシー弁当、ボリュームたっぷりカツカレー、だしが決め手の天ぷらそばなどです。また、栄養バランスを考えた日替わりランチは、午前11時から注文を受けていて、平日はホットコーヒー付きで750円となっています。



くあとろ御膳

ご来店いただくお客様に、ひと時の安らぎと満足を感じていただくため、全スタッフおもてなしの心で、お客様のお越しをお待ちしています。

**【営業時間】** 平 日 7:30～19:30  
土日祝 8:30～19:30

## 附属看護学校 入学試験と学校の使命

看護学校の年間行事の中で、最も大事なもの一つに、入学試験が挙げられます。推薦入試と一般入試がありますが、今年も多くの受験生の応募がありました。1月と2月に行われる一般入試は、学科試験と作文、面接という形で行われますが、昨年度から、私も面接を担当させていただいております。



最近は受験者も多様化しており、様々なバックグラウンドを持っている方が受験されます。面接の評価という難しい課題がありますが、どんな受験生に会えるか楽しみでもあります。短い時間の中で、いくつかの質問に答えてもらうわけですが、多くの方は事前に面接の指導を



受けていることがうかがわれ、紋切り型の返答がしばしば見られ、本音の話が聞けないところに物足りなさを感じことがあります。しかし、どの受験者の方も看護という職を通して自分の将来像を描いて、学校の門を叩いたことは伝わってきます。

能力と適性を備え、強い意欲を持った方を選び出し、君津中央病院の看護を担っていく人材を育てていくことが、附属看護学校の第一の使命ですが、そのなかで、学生さんの自己実現の手助けをするということも、学校の大重要な役目だと考えております。

(附属看護学校長 須田 純夫)



### 君津中央病院企業団第3次3か年経営計画について

君津中央病院・君津中央病院大佐和分院・君津中央病院附属看護学校の経営母体である君津中央病院企業団では、平成24年度から平成26年度にかけて第3次3か年経営計画を策定しました。

この計画は、地域の皆様や関係機関の方々に広く君津中央病院企業団の使命や役割を理解していただくために、君津中央病院ウェブサイトで公表しています。詳細は、病院ウェブサイトより

[ホーム > 君津中央病院企業団 > 経営計画](#)  
をご覧ください。

### 君津中央病院広報誌「クローバー」の表紙写真募集について

病院を利用する皆様の視点から撮影した、君津中央病院の写真を募集しています。応募の方法は、病院ウェブサイトより

[ホーム > 広報誌「クローバー」](#)  
をご覧ください。

*Information*  
**お知らせ**



# 大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中  
TEL 0439-65-1251

## 大佐和分院 事務係紹介

分院の事務係は、正規職員2名・臨時職員4名・金融機関からの業務委託者1名の合計7名で構成されています。1日の平均患者数が入院31人・外来210人で、約9割を高年齢層が占めるなか、平均年齢42歳の精鋭スタッフで日々対応しています。また、執務室は33.6m<sup>2</sup>の事務室と、24.3m<sup>2</sup>の応接室+OA機器室の2室構成です。



事務係の業務は、事業の核として事務並びに分院全般の業務に携わっていて、時に、雨漏りがすれば屋上に登り、植木が伸びれば剪定をするなど事務業務以外にも多種多様に対応しています。俗に言う「なんでも屋」でしょうか、とにかく大忙しです。

患者様は、富津市にお住まいの方が殆どを占めます。なかには診療券の受付を開始する早朝6時に来院される方もいて、職員が出勤するころには数人の患者様の集まりによる井戸端会議が日課のように行われるといった、のんびりした光景が見られます。また、患者様からの苦情などもなく、地域に密着した病院であることが感じられます。

分院の建物は、築40年が経過し老朽化並びに狭隘化が進み、毎年度修理等で対応しているところです。平成24年度を初年度とする第3次3か年経営計画では、「分院としての施設・機能の見直し」を施策として盛り込み、これに基づく分院施設機能検討委員会を設置して平成24年度の方針策定に向けた準備が整いました。

今後も地域に密着した病院として、また、その事務係として患者様のサービス向上に努め、地域医療を支えるべく職員一同頑張ってまいります。ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

(分院事務長 内山 輝雄)

## 外来診察担当医表

(平成24年4月1日~)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		備 考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科・小児科	庄司(涼)		田中		北湯口		田中		田中		桐谷医師 毎月最終の 木曜日のみ
	寺林		北湯口		庄司(涼)		寺林 (桐谷)		北湯口		
					三浦						
循環器科		山本・松戸・鶴根 (交替)									
神経内科			藤沼								
外 科							朱				
整形外科			保住								
皮膚科				稻福							
泌尿器科					稻原						
眼 科	佐々木	佐々木	佐々木		佐々木	佐々木	佐々木		佐々木		
人間ドック					田中				山倉		

受付時間  
午前 8:00~11:30  
午後 12:00~15:00

診察開始時間  
午前 9:00~  
午後 13:30~

国保直営君津中央病院大佐和分院  
富津市千種新田710番地  
TEL 0439-65-1251

## 編集後記

「あなたの桜はどんなイメージですか？」

今年も君津中央病院の桜が満開になりました。  
いろいろな別れを思い出します。  
そして4月、新たな出会いの季節がやってくる。

切ない気持と新たな希望を持たせるのは、桜の魅力なのかもしれません。

人それぞれに思いを馳せながら桜を見上げると、  
また一層その美しさ、はかなさが増してくる…

そんな桜に、人は心惹かれるのではないかでしょうか。  
(K.K.)

